

牛乳生産費調査について

- 調査は、地域別・飼養頭数規模別に配置した全国約500戸（北海道では約250戸）の酪農家のご協力の下、実施。
なお、調査方法は酪農家による記帳を基本とし、職員（専門調査員）による面接聞き取りにより補完。
- 牛乳生産費は、生乳の生産コストの把握を目的としており、成畜（初回分べん）以降の搾乳牛の飼育に要する経費、労働時間を計上。
- 自家育成牛については、成畜時（初回分べん時）の市価評価額に基づき減価償却費を計上。

【牛乳生産費で計上する費目】

費 目		費 目 の 内 容 （ 主 な も の ）
種付料		精液、種付けに要した費用
飼料費	流通資料費	購入飼料費
	牧草・放牧・採草費	牧草等の飼料作物の生産に要した費用、放牧場、採草地に要した費用（費用価）
敷料費		敷料として畜房内に搬入された材料費
光熱水量及び動力費		電気料、水道料、燃料、動力運転材料
その他諸材料費		縄、ひも等の消耗材料のほか、他の費目に該当しない材料費
獣医師料及び医薬品費		獣医師料、医薬品、疾病傷害共済掛金
賃借料及び料金		賃借料（建物、農機具など）、きゅう肥の引取料、牛乳検査料
物件税及び公課諸負担		固定資産税（土地を除く。）、自動車税、軽自動車税、自動車取得税、自動車重量税 集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費、農業共済組合賦課金
乳牛償却費		搾乳牛の償却費（自家育成牛の場合には、成畜時の市価評価額を減価償却）
建物費		畜舎、納屋、倉庫、作業所、農機具置場等の償却費及び修繕費
自動車費		貨物自動車等の償却費及び修繕費
農機具費		トラクター、ローダー、ミルカー、バルククーラー等の償却費及び修繕費
生産管理費		集会出席に要する交通費、事務用品、パソコン、コピー機等の償却費、購入費及び修繕費
労働費		搾乳牛の飼育労働、生産管理労働、自給牧草の生産労働
利子		支払利子額、自己資本額に年利率4%を乗じて得た額
地代		借入地の支払地代・小作料、所有地の見積地代（類地の賃借料又は小作料により評価）

牧草費用価の計上範囲

- 本調査は、自給牧草を生産する農家を対象として実施。
- 牧草生産コストを把握し、機械や設備のコストも計上。

費 目	費目の内容（主なもの）
種子費	種子の購入に要した費用
肥料費	購入肥料、自給のきゅう肥・たい肥の費用
農業薬剤費	農業薬剤に要した費用
光熱動力費	農機具の燃料・潤滑油、電力料
諸材料	ビニール等の他の費目に該当しない材料費
賃借料及び料金	農機具の賃借料、コントラクターの委託料
自動車費	貨物自動車等の償却費及び修繕費
農機具費	トラクター等の償却費及び修繕費
建物費	サイロ等の償却費及び修繕費
草地費	草地の整地
労働費	自給牧草の生産労働

牛乳生産費調査における労働時間の計上範囲について

- 調査では、酪農家に日々の労働実態を整理する「作業日誌」を配布し、記帳していただく方法により労働時間を把握。
- 労働時間は作業別に把握しており、それぞれの労働時間には「準備時間」や「後片付け時間」を含めるほか、「住居と畜舎等の往復時間」や悪天候等により作業を一時中断した場合の「待機時間」も加算。

【労働時間の取り扱い】

労働区分			主な労働内容（具体例）
直接労働時間	飼育		家畜の飼育管理（飼料給与、搾乳、敷料搬入・きゅう肥搬出、畜舎の衛生管理）
	生産管理	集会出席	共同機械利用、ヘルパー雇用、畜産組合の打合せ（役員会を除く）
		技術習得	技術講習会、畜産専門書の読書、運転免許の更新
		簿記記帳	経営改善のための簿記記帳、経営分析
間接労働時間	自給材生産等	自給材生産	自給牧草、自給肥料の生産
		修繕	建物、農機具等の修繕
	資材等購入		資材の購入、雇用労働の調達、各種料金の支払い

※それぞれの労働時間は、次の時間を合計したもの。

作業時間

- ・ 準備時間（身支度、材料準備、農機具の点検作業等）
- ・ 往復時間（自宅から畜舎・ほ場までの往復）
- ・ 実作業時間（搾乳牛の飼育管理等）
- ・ 後片付け時間（作業終了後の後片付け）

待機時間

雷雨等の突然の天候変化、農機具の故障、停電等の事故によりやむを得ず、作業を一時休止した時間。ただし、その後、作業を断念した場合は除く。